

平成29年度進行管理・評価シート
向日市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更平成27年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 向日市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観法に基づく連携、屋外広告物に基づく 連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 大極殿整備計画事業	3
2 竹の径景観保全事業	4
3 桜の径景観保全事業	5
4 長岡宮跡周辺道路美装化事業	6
5 歴史資源回遊性向上施設整備事業	7
6 情報案内板設置事業	8
7 向日市文化資料館整備事業	9
8 観光マップ作製事業	10
9 長岡京・平安京連携事業	11
10 長岡京広報・PR事業	12
11 向日市文化資料館企画展示実施事業	13
12 発掘調査説明会事業	14
13 歴史資源調査活用事業	15
14 市民歴史活動連携事業	16
15 長岡京を活かしたまちづくり支援事業 地域歴史ボランティア養成事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること	18・19
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、 文化財の防災に関すること	20
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への 助成・支援や連携・協力した取組に関すること	21・22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	23・24
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
向日市の歴史を活かしたまちづくりに関する意向調査	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	26
-------------------------------	----

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況

向日市歴史的風致維持向上協議会の開催	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
--------------------	---

「向日市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。
本計画の実現に向けて、市長公室広報・ふるさと創生課、建設産業部都市計画課及び教育部文化財調査事務所が事務局となり、庁内関係各課で組織されている「向日市歴史まちづくり庁内推進会議」において、計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、地元関係団体、行政(国、府、市)により構成される「向日市歴史的風致維持向上協議会」を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業内容について意見を聞くことができた。開催回数 1回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【内容】(1)向日市歴史的風致維持向上計画 平成29年度進行管理・評価シートについて
(2)平成30年度実施予定事業について

平成29年度 第1回向日市歴史的風致維持向上協議会の様子

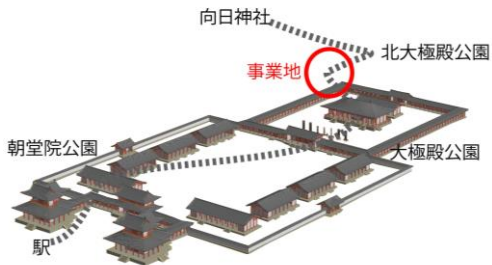
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
景観法に基づく連携 屋外広告物法に基づく連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	景観計画の策定の中で、景観計画区域を市域全域に位置付け、本市の特徴を「歴史的景観」「自然的景観」「市街地景観」の3つに分類し、それぞれの地域特徴に応じた景観形成に努めることとしている。 このうち特に、向日丘陵の自然景観、向日神社や西国街道沿いの歴史的景観、阪急西向日駅周辺の良好な低層住宅地景観などは本市として守っていき、また、良好な景観を形成していくべき地区であることから、「景観重点地区候補地」に位置付けることを検討している。 なお、景観計画は、この歴史的風致維持向上計画の内容を反映したものとし、歴史的風致の維持向上にも期するものとする。 また、屋外広告物は、景観に対する影響が大きいことから、景観計画の中で、屋外広告物に対する考え方を整理し、向日市らしい屋外広告物の施策を調査・研究することとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致維持向上計画との整合においては、地域特性に応じた規制誘導が必要であることから、京都府景観行政団体連絡会議及び近畿地方都市美協議会研究会等において他市事例等の調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		歴史的風致維持向上計画との整合においては、地域特性に応じた規制誘導が必要であるものの、現在、市内において課している用途地域や高度地区などの都市計画制限と重なる部分も多く、現行の都市計画制度の中でも対応が可能な状況となっている。一方、本市では、JR向日町駅東口開設に関連した周辺整備やJR向日町駅東側の森本東部地区及び阪急洛西口駅西側地区における新たなまちづくりなど、まちの構造が大きく変化する事業が進められていることから、それら主要事業との調整を図る必要が生じている。	
状況を示す写真や資料等			

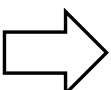
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
大極殿整備計画事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	文化財保存整備費（歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業）		
計画に記載している内容	史跡公有化に伴う大極殿跡などの一体的な保存整備と活用促進を目的として、目に見えない史跡をより体感できるように遺跡表示を整備し、大極殿祭を行う顕彰の場として保全し、維持向上させる整備を行うため、計画を策定し、整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成29年度 史跡長岡宮跡 大極殿回廊地区保全整備工事（1か年次目）、施工監理業務ほか [今後の予定] ○平成30年度～ 史跡長岡宮跡 大極殿回廊地区保全整備工事（2か年次目）、施工監理業務、保全整備工事報告書印刷製本、保全整備工事地を取り入れた史跡めぐり、関連講演会ほか活用促進事業			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 向日市文化財活用計画図  史跡長岡宮跡を中心としたネットワーク化計画図  歴史回廊計画図  史跡長岡宮跡大極殿地区整備計画鳥瞰図  平成29年度整備工事風景(北から)			

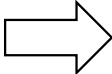
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
竹の径景観保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成36年度	
支援事業名	「もうひとつの京都」市町村景観整備支援事業費交付金	
計画に記載している内容	歴史的資源であるタケノコづくりから出る廃材などを利用し、延長約1.8kmに設置された8種類の竹垣の保全改修を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年度整備 382.1m		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【竹垣の保全の様子】 (整備前) (整備後)  竹垣の改修の様子		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
桜の径景観保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	桜の木の成長による根上がりから道路構造物が破損しているため、桜の木の環境にも配慮しながら、安全性の向上、歩車道空間を含めた景観保全のための道路改良や、それらとあわせた樹木の剪定、消毒、古木の伐採や植栽を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
整備延長 54.1m		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
(整備前) (整備後) 		

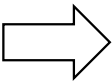
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
長岡宮跡周辺道路美装化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	史跡長岡宮のそれぞれの遺跡や向日神社などを結ぶ道路について、公共交通機関である阪急西向日駅から史跡長岡宮跡のそれぞれの遺跡や向日神社を結ぶ道路の美装化(カラー舗装など)をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備済	120m		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(整備前)  ➡ (整備後) 			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
歴史資源回遊性向上施設整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	長岡宮跡などの歴史的風致の所在する区域において来訪者などを受け入れるための機能を備えた施設を整備することで、本市の歴史的資源を巡る回遊性の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致のある地域を周遊するにあたり、市民の方や来訪者の休憩場所、集合場所となるように、トイレなどの施設改修を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【西向日公園】 (整備前) (整備後) 		

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
情報案内板設置事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～平成36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	車での来訪者、公共交通機関を利用しての来訪者を歴史的資源の場所へ導くための標識を主要な道路などに設置する。駅前や主要な公共施設などに、歴史・文化資源の位置を示した案内板を設置する。主要な史跡、歴史的建築物や行事などの内容を記した説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「向日市歴史文化観光情報板設置計画」に基づき、JR向日町駅前に観光案内板(デジタルサイネージ)を設置した。 設置数：1基			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

設置した観光案内板(デジタルサイネージ)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
向日市文化資料館整備事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度から平成29年度まで		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	開館30周年を迎えた文化資料館について、長岡京跡の出土考古資料の常設展示の場だけでなく、歴史まちづくりの拠点とし、歴史資料の公開や情報提供、ボランティアサークルの活動支援など、果たすべき役割が大きくなってきていることから、歴史文化の中核拠点として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化資料館の既存建物の一部(ラウンジ部分)を改修して歴史体験交流センターを整備し、本市の歴史・文化や観光情報を発信するとともに、来訪者が休憩したり交流したりすることができる環境を整えることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



全景



土器コーナー



復元製作した古代衣裳



休憩・情報コーナー

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
観光マップ作製事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 本市には、市域全域に歴史・文化資源が点在しており、これまでからさまざまな手法を通じて紹介してきたところであるが、さらに、本市の歴史的風致を円滑に周遊できるよう、回遊ルートや歴史資源を分かりやすく示した観光マップを作製する。また、作製にあたっては、スマートフォン、などの通信機器への対応について、ICT技術の活用を踏まえた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光冊子「るるぶ特別編集 京都向日市」を作製、配布した。なお、作製にあたっては、冊子に加え、インターネット等でダウンロードできる電子ブックを作製し、市内を周遊される際の利便性向上を図った。作成部数:4万部

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「るるぶ特別編集 京都向日市」表紙

「るるぶ特別編集 京都向日市」電子ブック
スクリーンショット

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
長岡京・平安京連携事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～平成36年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	長岡京の次に、隣接する京都市に平安京が建都されたことから、共通するそれらの歴史や歴史的風致をキーワードとして、京都市と協働で「竹の径・かぐやのタベ」や歴史巡りウォーキングなど効果的なイベント事業を検討し、実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年度実施イベント「かぐやのタベ」「竹結びフェスタ」 参加者数:「かぐやのタベ」 約6,000人・・・2日開催予定のところ、荒天のため規模を縮小し1日の開催となった。 「竹結びフェスタ」 約1,800人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



<向日市・京都市(西京区)相互交流事業>
平成29年10月21開催「竹結びフェスタ」

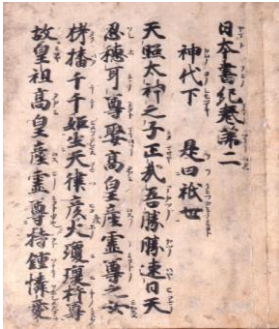
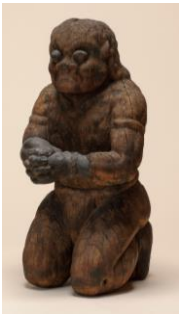
評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
長岡京広報・PR事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～平成36年度	
支援事業名	市単独事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	長岡京が向日市にあったことを市内外に周知し、認知度を向上するため、長岡宮跡の共通ロゴやPR看板などの作製など、広報PR活動を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
引き続き、公共交通機関を利用した広報や、ロゴマークを活用したグッズ製作を行った。 (平成29年度は、ロゴマーク入りピンバッジを約250個販売)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【ロゴマーク】   ピンバッジ (1個300円で販売)  竹製ピンバッジ 向日市観光協会が作成・販売 【公共交通機関を利用した広報】  JR向日町駅看板  むこうまんじゅう 市内事業者が開発・販売  阪急西向日駅看板  JR向日町駅構内		

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
向日市文化資料館企画展実施事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和59年度から平成36年度まで	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史・文化のまちづくりの中核拠点となる文化資料館において、さまざまな時代における歴史・文化の企画展を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度の未刊「乙訓郡誌」稿の調査成果を活用して、郡誌編纂の過程とその時代背景を関係資料とともに紹介する特別展「乙訓郡誌の編纂とその時代」を開催した。質・量ともに充実した展示や関連事業を通じて、本市を含む乙訓の歴史と文化を広く発信することができた。＜平成29年11月18日から同年12月17日まで開催 期間中来館者数 1,360人＞		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 「乙訓郡誌」原稿  日本書記 神代紀 下巻  南真経寺 手鑑  蔵王堂光福寺 風俗絵馬  徳川綱吉筆 観音菩薩坐像  福田寺 木造夜叉形跪坐像  特別展観覧風景		

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
発掘調査説明会事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和52年度～平成36年度		
支援事業名	文化財保存整備費（埋蔵文化財発掘調査等事業）		
計画に記載している内容	埋蔵文化財の確実な保存・活用を図るため、埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに、発掘した成果について説明会を開催するなどによって、必要な情報提供などの支援を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成29年度 現地説明会1回 参加人数260人（平成29年12月末現在）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 平成29年度 史跡長岡宮跡 内裏外郭築地地区現地説明会			
 平成27年度 AR技術を活用した発掘調査現地説明会 （史跡長岡宮跡大極殿回廊地区）			
 平成28年度 物集女城跡発掘調査説明会			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
歴史資源調査活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和59年度から平成36年度まで	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	本市に点在する歴史・文化資源を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、歴史的風致形成建造物などの歴史・文化資源に関連する現地調査や歴史資料の調査整理を行うとともに、調査結果を活用し、歴史講座の開催や今後のまちづくりへの活用検討などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
向日神社文書及び北真経寺檀林関係文書の目録を整理し、今後の活用にあてた。また、本市の歴史を概説するコンパクトな通史がこれまでなかったことから、向日市史概要版を作成した。このほか、「乙訓郡誌」稿の調査成果を活用し、郡誌稿を読む全10回の「乙訓むこうまち歴史講座」及び郡誌稿に記された場所を実際に訪ねて歩く全5回の「乙訓むこうまち歴史散歩」を開催し、本市をはじめとする乙訓地域の歴史と文化について学ぶ機会を広く提供した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 乙訓むこうまち歴史講座 (全10回)  乙訓むこうまち歴史散歩 (全5回)		

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
市民歴史活動連携事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度から平成36年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	向日市まつりなど本市で開催されるイベントと連携して行われる歴史・文化の市民活動を支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
多くの人が集まる「向日市まつり」と連携して、「西岡衆武者行列」を行い、より多くの人に本市の歴史・文化に対する認知と理解を深めることができた。 参加者数：29人(こども手づくり甲冑隊16人、西岡衆武将隊10人、その他3人)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
		
西岡衆武者行列 11月19日(日)		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
長岡京を活かしたまちづくり支援事業 地域歴史ボランティア養成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度から平成29年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
計画に記載している内容	重点区域内で、長岡京などの歴史・文化資源を活かしたまちづくりに取り組んでいる団体や歴史・文化資源の維持・保全、活用に取り組んでおられる団体に対して、活動支援を行う。また、ボランティアとして、本市に多数存在する歴史・文化資源を説明案内する活動をしている団体に対し、さらなるボランティアの養成などを行うため、必要な支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
豊富な歴史・文化資源を有する市の魅力を市民自らが掘り起こし、そして活用し、市民主体のまちづくり活動につなげるため、勉強会「むこうスタイルLABO」を開催した。(全4回、各回とも約40人が参加)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
「むこうスタイルLABO」勉強会の様子 		
 まちあるきの様子(第3回勉強会)  まちあるき後のワークショップ		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域内に存在する指定等文化財について、文化財の周辺環境も含めて保存活用の検討を行い、文化財指定の有無を問わず、文化財を市民の遺産として守り育てるという市民意識の醸成を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①文化財調査 史跡乙訓古墳群五塚原古墳及び寺戸大塚古墳において文化財活用を目的とした地籍整備事業を実施 4.13ha ②文化財指定 京都府暫定登録文化財(平成29年度から) 32件 ③保存管理(活用計画) 旧上田家住宅活用計画を策定するため庁内プロジェクトチームの設置するとともに、簡易耐震診断、測量、歴史的評価の調査を実施した。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、各種の文化財調査の修理事業、環境整備、防火防犯等の保存措置を講じる。	
状況を示す写真や資料等		
 ①五塚原古墳 測量  ①寺戸大塚古墳 測量		



③旧上田家住宅航空写真
(赤枠は、平成30年度発掘調査予定地)



③旧上田家住宅
主屋玄関(南から)



③旧上田家住宅
主屋座敷(東から)



③旧上田家住宅
主屋カマド



③旧上田家住宅
測量調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財は、火災や事故、盗難などにより消滅や毀損すれば、再び回復することが不可能になることがある。 文化財の保存修理（整備）が必要な場合は、文化財の価値を損なうことなく損傷箇所などの修理を行う必要がある。文化財の所有者・管理者は、文化財の保存修理について深く認識し、施設の維持管理と修繕、周辺環境の整備、日常の保守点検の強化、関係機関との密接な連絡等を徹底し事故等の根絶を図る。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
(1)文化財の修理事業 (2)文化財の周辺環境整備 (3)文化財の防災(防火・防犯等) ①文化財消防訓練 北真経寺(平成30年1月25日) ②文化財立入検査 向日神社、南真経寺、北真経寺 ③文化財防災設備保守点検補助 向日神社、南真経寺、北真経寺 ④文化財・防火傍点周知 向日神社、南真経寺、北真経寺		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 啓発看板(市役所庁舎前)  啓発看板(南真経寺開山堂前)  自動火災報知器点検(南真経寺)  防火運動 文化財避難訓練(北真経寺)  消防訓練(北真経寺)  初期消火活動(北真経寺檀家)		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化資料館等の施設を有効に活用し、企画の充実を図るとともに、関係施設の連携を深め、文化財の資料収集や調査研究を推進するとともに、施設機能の充実と公開活用を行い、一体的な情報発信に取り組むこととする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
1 文化財の普及啓発の取組(展示、講座、講演会、教室等) (1)文化資料館常設展示「長岡京の歴史と文化」年間入館者数 12,068人 (2)史跡長岡宮跡朝堂院公園史跡案内 年間見学者数 7,277人(平成30年1月末現在) (3)物集女車塚古墳石室一般公開・臨時公開(一般公開 H29.5.23、H29.5.31、676人、臨時公開 H29.10.11ほか 240人) (4)市民考古学講座(6回開催)・関連講演会(1回) 講座参加者数 392人 講演会参加者数 121人 (5)埋蔵文化財調査成果展示会「先祖の記憶-古墳時代の祖霊観-」(H29.9.2~H29.10.9) 期間中入館者数 2,047人 (6)埋蔵文化財調査成果展示会関係講演会「古墳時代の埋葬と系譜意識」(H29.10.7) 参加者数 103人 (7)朝堂院の絵灯路(H29.11.11) 参加者数468人 (8)AR長岡宮ダウンロード数 3,897回(累計10,237回)、貸出タブレット利用者 736人(累計4,064人) (9)墳タビ! 物集女車塚古墳ダウンロード数 3,696回 (10)発掘調査スライド大会(H30.3.4) 参加者数____人 (11)文化資料館特別展「乙訓郡誌の編纂とその時代」(H29.11.18~H29.12.17) (12)文化資料館特別展記念講演会 「自治体史編纂の歴史と西田直二郎について-未刊「乙訓郡誌」稿との関わりの中で-」(H29.12.3) 参加者数55人 「桂昌院・徳川綱吉による元禄の寺社再興と金蔵寺・善峯寺」(H29.12.10) 参加者数76人 (13)文化資料館ラウンジ展示 「くらしのなかの戦争展」(H29.7.15~H29.8.27)、「くらしのなかの道具展」(H30.1.27~H30.3.25) (14)連続ワークショップ「着る、読む、学ぶ、古代の都 長岡京」 「着る」(H29.9.16) 参加者数 11人、「作る」(H29.10.4) 参加者数 12人、「学ぶ」(H29.11.4) 参加者数 13人 成果発表会「長岡京遷都ものがたり」(H29.11.11) 参加者数 86人 (15)乙訓むこうまち歴史講座(H29.6.18~H30.3.18 全10回) 合計参加者数____人 (16)乙訓むこうまち歴史散歩(H29.10.28~H29.12.18 全5回) 合計参加者数____人 (17)夏休み子ども歴史教室「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」(H29.7.27・28) 参加者数 20人 (18)日曜談話会「“兵士”ができるまで」(H29.7.30) 参加者数 10人 「未刊『乙訓郡誌』稿の編纂と構成について」(H29.12.3) 参加者数 55人 「史料紹介 元禄の寺社再興と向日神社との関わり」(H29.12.10) 参加者数 76人 (19)スタンプラリー(史跡めぐり)(H30.2.11) 参加者数 200人 2 民間団体への助成・支援 (1)国登録文化財中小路家住宅 文化活動補助 40,000円 (2)大極殿遺蹟保存協賛会 文化活動補助 40,000円 (3)森本遺蹟保存会 文化活動補助 19,000円 (4)物集女城を考える会 文化活動補助 19,000円 (5)府指定文化財 鶏冠井題目踊保存会 後継者育成補助 35,000円 (6)市指定文化財 鶏冠井シャナンボウ保存会 後継者育成補助 35,000円 3 民間団体との連携・協力 (1)市民団体行事及び向日市まつりでの埋蔵文化財出土遺物展示		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

1 文化財の普及啓発の取組



(2)史跡長岡宮跡
朝堂院公園史跡案内(通年) (平成29年5月23日～31日)



(3)物集車塚古墳石室一般公開



(4)市民考古学講座(全6回)



(5)埋蔵文化財調査成果展示会
(平成29年9月2日～10月9日)



(6)「埋蔵文化財調査成果展示会
関係講演会」(平成30年3月5日)



(7)朝堂院絵灯路
(平成29年11月11日)



(8)AR長岡宮の活用



(8)墳タビ！物集女車塚古墳



(10)「発掘調査スライド大会」
(平成30年3月4日)

(11)文化資料館特別展「乙訓郡誌
編纂とその時代」
(平成29年11月18日～12月17日)

(13)「くらしのなかの道具展」
(平成30年1月27日～3月25日)



(14)連続ワークショップ
「着る、作る、学ぶ 古代の都 長岡京」
(平成29年7月15日～8月27日)



(15)乙訓むこうまち歴史講座
(平成29年6月18日～平成30年3月18日)



(16)乙訓むこうまち歴史散歩
(平成29年10月28日～12月18日)

(19)スタンプラリー(史跡めぐり)
(平成30年2月11日)

2 民間団体への助成・支援



(1)大極殿祭開催状況



(2)森本遺跡顕彰祭開催状況
(平成29年11月5日)



(3)鶏冠井題目踊披露状況
(平成29年5月3日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
向日「玄関口」に竹の広場		H29.4.3	京都新聞
桜守トリオ 満開心待ち		H29.4.4	京都新聞
トイレ、長岡宮風に 向日 ふれあい広場に登場		H29.4.5	京都新聞
江戸民家寄付「歴史拠点に」長岡宮の一角、向日の上田さん市、活用方法を検討		H29.4.6	京都新聞
西国街道の常夜灯 移設		H29.4.11	京都新聞
古墳の外観、内部体感「物集女車塚」向日市、アプリ制作「真の姿を伝えたい」		H29.4.15	京都新聞、毎日新聞
ミニ鉄道で運転士気分 向日 子ら街の再現模型楽しむ		H29.5.6	京都新聞
鳳輦巡行 五穀豊穡願う 向日神社で神幸祭		H29.5.12	京都新聞
立体地図を作ることで見えてくる、乙訓の“いまむかし”		H29.5.20	リビング京都西南
西岡衆の生きざま 紙芝居に 戦国期 乙訓を自治した武士集団 歴史研究会調査から10年の集大成		H29.5.26	京都新聞
向日の魅力 LINEで発信 市、広報力強化へ 催し告知、「瑞風」停車情報も		H29.6.22	京都新聞
土器、児童じっくり観察 向日市民体育館 展示用入れ替え公開		H29.7.26	京都新聞
見る・着る・作る「長岡京」学ぶ		H29.8.23	京都新聞
長岡宮内裏から築地跡 東宮南西部 幅2.1メートル、最大規模の外郭 向日市埋文センター 平安宮台地は一の原形か		H29.9.8	京都新聞、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞
向日市文化資料館が書籍化「乙訓郡誌」ゆかりの地巡ろう 来月から「歴史散歩」価値PRへ		H29.9.15	京都新聞
るるぶ向日、観光・グルメ発信		H29.9.26	京都新聞
向日市、竹やかぐや姫PRへ オリジナルチョコ 限定販売		H29.10.19	京都新聞
遷都記念日 市民祝う 向日で催し VR体験など盛況		H29.11.12	京都新聞
乙訓郡誌 歴史読み解いて 向日市文化資料館で特別展 原稿や史料、戦前展覧会展示品		H29.11.28	京都新聞
向日市ふるさと検定第2回試験 初の中級 市民ら真剣		H30.1.22	京都新聞
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
市が有する貴重な史跡、古墳や未刊「乙訓郡誌」稿編纂過程の調査成果を活用した事業を実施するとともに、関連する講習会や歴史文化交流センター活用事業を実施し、これまで、実施したロゴマーク、キャッチコピーの活用や、第2回目の開催となった「向日市ふるさと検定」等とあわせて向日市の歴史を広くアピールすることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	平成29年度
向日市の歴史を生かしたまちづくりに関する意向調査			
計画に記載している内容	歴史を生かしたまちづくりに対して、市民の方々がどのように感じておられるかを把握するため実施した。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
市内居住の満18才以上2,000人(無作為抽出)を対象に実施。回収数 853人(回収率42.7%) 道路の美装化や休憩施設の整備などハード整備については、概ね肯定的な評価が得られた。 「文化財の活用等歴史を活かしたまちづくり」に対する満足度については、「満足」との回答が46.6%となった。 (「不満」と回答した割合は9.6%)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	「文化財の活用等歴史を活かしたまちづくり」に対する満足度については、「どちらともいえない」との回答が36.6%を占めていたことから、引き続き、市の取組みの周知・PRを行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			